

J:COM 舞台は池田 落語ドラマ

ケーブルテレビのジェイコムウエストが、関西の地場産業をテーマに30分ドラマに取り組んでいる。今月放送の第8作「落語屋の娘」は、落語による町おこしを狙う大阪府池田市を舞台にした人情喜劇だ。

産学官の共同企画として2012年から単発ドラマを制作。「大阪ダンス&アクターズ専門学校」などを運営する滋慶学園COMグループと制作会社の東通企画、地元自治体が協力してい

る。脚本、演出、撮影はプロが担当し、学生は出演者やスタッフとして参加。これまでに兵庫県猪名川町の農業、和歌山市の漁業、大阪府八尾市の歯ブラシ製造、大阪市の錫器作りなどの職業ドラマを制作、放送してきた。

俳優志望の学生だけあって演技は達者。「挿入曲などにも、若者らしい感性が光る」と制作サイド。学校側も「学生のチャレンジ精神が高まり、進路にも



大阪・池田が舞台の「落語屋の娘」

結びついている」と手応えを感じ、ジェイコムウエストは「地域再発見のツールとしてケーブルテレビを見直してほしい」としている。

「落語屋の娘」はJ:COMチャンネルで4月中の火曜午後7時半、土曜同9時にリピート放送。(旗)

